

会員対象講習会 4 F 大ホール

デジタル総義歯、はじめの一步 ～3DFDの臨床ステップとその根拠～

岡山県開業

飯田 雄太



近年、超高齢社会を背景に顎堤吸収の著しい難症例が増加している。従来のPMMA義歯床材料は重合時に体積収縮を起こし、精密に印象・咬合採得を行っても、その精度をそのまま義歯に反映させることは容易ではなかった。

ここにデジタル技術を用いれば、重合収縮に振り回されることなく安定した精度が得られる。難症例が増えている今の臨床現場と、精度で勝負ができるデジタル技術は非常に相性が良いと言える。

ただし、デジタルはあくまで入力された情報を忠実に再現する技術であり、精密印象・咬合採得というアナログの土台があってこそ、その恩恵を最大限生かすことができる。

本講演では、デジタルデンチャーを製作する際の治療の流れについて、エビデンスと臨床例を交えて解説する。あわせて一歩進んだ応用的な活用法にも触れたいと思う。明日からの3DFD臨床の一助となれば幸いである。

略 歴

2013年 東京歯科大学卒業
2014年 医療法人D&H かめだ歯科医院 勤務
2021年 飯田歯科本院 勤務
2025年 飯田歯科本院 院長

有床義歯学会 理事・認定医
SEMCD CLINICAL MASTER INSTRUCTOR
日本顎咬合学会 会員
日本補綴歯科学会 会員
株式会社モリタ デジタルデンチャーインストラクター
てんとう虫スタディーグループ



大会テーマ

健康は歯から～生きる力を支える歯科～

第31回 大阪歯科保健大会

日 時 令和8年10月31日(土) 午後2時～

場 所 大阪府歯科医師会館（※お車での来場はご遠慮ください）

日 程		
午後2時～	開会のことば	大阪歯科保健大会副会長 津田 高司
	府民公開講座 「お口から始める誤嚥性肺炎予防」 大阪大学大学院歯学研究科 アニコム ビッグデータ MA-T臨床科学共同研究講座 特任助教 藤井 菜美	
	感謝状贈呈	大阪歯科保健大会実行委員長 林 正純
午後2時40分～	セレモニー 挨拶 来賓紹介	大阪歯科保健大会会長 深田 拓司
	〔歯の親善大使〕 片岡愛之助 ビデオレター 上映 ミルクボーイ 歯科啓発用漫才動画 上映	
	午後3時～ 8020達成者の表彰 賞状・記念品贈呈	大阪府知事賞 大阪市長賞 大阪府歯科医師会会長賞 8020推進財団理事長賞 大阪口腔衛生協会会長賞
	受賞者代表謝辞	
午後3時45分～	会員対象講習会 「デジタル総義歯、はじめの一步 ～3DFDの臨床ステップとその根拠～」	岡山県開業 飯田 雄太
	感謝状贈呈	大阪歯科保健大会副会長 木田 眞敏
	午後4時45分 閉会のことば	大阪歯科保健大会副会長 辻坂 智矢

併 催 午後2時40分～4時30分

- ◎歯科健診・歯の健康相談・口腔内カメラ ◎府民向けパネル展示 ◎スタンプラリー
◎補綴物の展示（大阪府歯科技工士会） ◎歯みがき指導（大阪府歯科衛生士会）
◎大阪府歯科医師国民健康保険組合保健事業（骨密度測定、脳年齢測定、血管年齢測定 他）

主 催 大阪府歯科医師会、大阪口腔衛生協会

後 援 大阪府、大阪市、堺市、東大阪市、豊中市、枚方市、八尾市、寝屋川市、吹田市、
日本歯科医師会、大阪府歯科技工士会、大阪府歯科衛生士会

協 賛 日本歯科材料工業協同組合、日本歯科用品輸入協会、近畿歯科用品商協同組合、
株式会社モリタ、株式会社ヨシダ、株式会社ジーシー、タカラベルモント株式会社、
ライオン株式会社、サンスター株式会社

*本大会は日歯生涯研修事業に該当いたします。

ご挨拶



一般社団法人 大阪府歯科医師会 会長
大阪口腔衛生協会 会長

深 田 拓 司

今年の４月に、最高気温40℃以上の日の名称を「酷暑日」とすると気象庁で決定され、7月21日には全国で初めて岐阜県内で「酷暑日」となりました。ようやく秋らしい気候となりましたが、一方で冬に流行するというイメージのインフルエンザ感染症が8月中旬から拡大していると報告されております。換気が不十分な室内で過ごす時間が長くなりがちですが、室内環境を整えるだけではなく、よく食べ、よく寝て免疫力を高めるなどし、引き続き感染予防に努めていただきたいと思います。

さて、このたび第31回大阪歯科保健大会が大阪府歯科医師会と大阪口腔衛生協会との共催のもと、「健康は歯から～生きる力を支える歯科～」をテーマに開催される運びとなりました。これも偏に日頃からの皆さま方のご支援、ご協力の賜物であると深く感謝しております。

府民の歯科保健向上を目指して開催される今大会においては、まず、府民公開講座で大阪大学大学院歯学研究科 アニコム ビッグデータ MA-T臨床科学共同研究講座 特任助教の藤井菜美先生から「お口から始める誤嚥性肺炎予防」と題した講演を予定しています。その後、大阪府歯科医師会 歯の親善大使である片岡愛之助さんのビデオレターと、同じく親善大使である吉本興業のミルクボーイさんによる口の機能の衰えを題材にした漫才動画を上映します。そして、8020達成者を会館にお招きして表彰いたします。さらに、会員対象講習会では「デジタル総義歯、はじめの一步～3DFDの臨床ステップとその根拠～」と題して、岡山県開業の飯田雄太先生にご講演いただきます。

同時に、歯科健診、歯の健康相談やパネル展示等を行います。また、例年どおり大阪府歯科技工士会のご協力による補綴物の展示や大阪府歯科衛生士会のご協力による歯みがき指導、大阪府歯科医師国民健康保険組合の保健事業も予定しております。どうか奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

結びに、本大会が府民の皆さまの歯科口腔保健の向上・健康寿命の延伸の一助になることを願い、ご挨拶いたします。

府民公開講座

4 F 大ホール

お口から始める誤嚥性肺炎予防

大阪大学大学院歯学研究科
アニコム ビッグデータ MA-T
臨床科学共同研究講座
特任助教

藤 井 菜 美



誤嚥とは、本来は食道へ入るはずの食べ物や飲み物、唾液などが、誤って気管へ入ることです。私たちは普段、食べ物をかみ、唾液と混ぜて飲み込みやすい形にまとめ、舌や喉をタイミングよく動かして食道へ送っています。しかし、加齢や病気、体力の低下などによってこの連携が弱くなると、誤嚥が起こりやすくなります。飲み込みの変化は、食事中や食後のむせ、食後のガラガラした声、たんの増加、湿ったせき、食事時間の延長、食べこぼし、体重減少、原因のはっきりしない微熱や繰り返す肺炎など、日常のさまざまなサインとして現れます。

誤嚥したからといって、必ず肺炎になるわけではありません。肺に入る細菌の量や誤嚥の頻度・程度がせきや免疫など身体の防御力を上回ったときに、肺炎が起こりやすくなります。そのため、誤嚥性肺炎の予防には、飲み込みの機能だけでなく、お口の環境を整えることも重要です。誤嚥を完全になくすことは難しくても、唾液とともに肺へ運ばれる細菌を減らすことはできます。歯だけでなく、舌、歯ぐき、入れ歯も清潔に保ち、口の乾燥を放置せず、定期的に歯科を受診することが大切です。また、私たちは通常の歯磨きや口腔ケアを補う新しい方法として、MA-Tを用いた口腔ケアについても研究しています。

本講座では飲み込みの仕組み、日常で気付ける誤嚥のサイン、そして今日からできる肺炎予防について、わかりやすくお話しします。飲み込みとお口の両方に目を向け、いつまでも安全に、おいしく食べ続けるためのヒントを一緒に考えてみましょう。

学 歴

2007年3月 大阪大学歯学部卒業
2012年3月 大阪大学大学院歯学研究科 修了、
博士（歯学）取得

略 歴

2007年4月 大阪大学歯学部附属病院 研修歯科医
2008年3月 大阪大学歯学部附属病院
歯科医師臨床研修修了
2012年4月 大阪大学歯学部附属病院
顎口腔機能治療部 医員
2017年4月 大阪大学歯学部附属病院
顎口腔機能治療部 医員
2026年4月 大阪大学大学院歯学研究科
アニコム ビッグデータ MA-T
臨床科学共同研究講座 特任助教

研究・専門

摂食嚥下障害や高齢者歯科医療を専門とし、誤嚥の早期発見を目指したせきの評価や新しい口腔ケア方法に関する臨床・研究を行っている

資格・所属学会

日本老年歯科医学会 認定医・専門医
日本口蓋裂学会
日本摂食嚥下リハビリテーション学会
日本障害者歯科学会